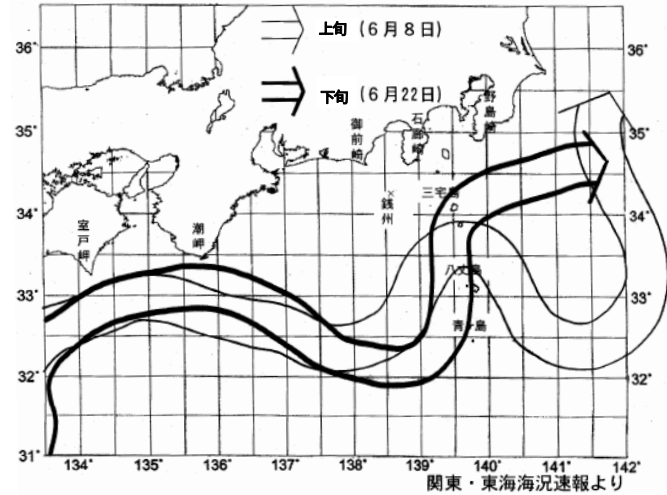


漁海況月報

平成29年6月1日

No. 6 ~6月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



6月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.9	20.2	19.6	19.3	20.7	20.3
	0.1	1.1	0.2	-1.2	0.1	-0.2
中旬	20.5	20.8	20.1	21.2	21.0	21.3
	0.0	1.3	0.3	-0.0	-0.5	0.2
下旬	21.6	21.8	21.1	21.9	22.0	22.3
	0.4	1.1	0.4	-0.3	-0.1	0.5
月	20.7	20.9	20.3	20.8	21.2	21.4
	0.2	1.2	0.3	-0.5	-0.2	0.2

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

上旬はW状(B型+D型)で、遠州灘沖32.5°Nから北東に進み、御蔵島付近から南下し、32.5°N、141.5°Eから北に進んだ。中旬もW状(B型+D型)で、遠州灘沖32.5°Nから北東に進み、御蔵島付近から南下し33°N、142°Eから北に進んだ。下旬にB型となり、遠州灘沖32.5°N、137°Eから東南東に進み伊豆半島沖32°N、139.5°Eを北進し三宅島付近から東北東に進んだ。

【県下沿岸域】

6月上旬は、稲取「やや高め」、伊東、下田、沼津、焼津「平年並」、雲見「やや低め」であった。中旬は、稲取「やや高め」、伊東、下田、雲見、焼津「平年並」、沼津「やや低め」であった。下旬は、稲取、焼津「やや高め」、伊東、下田、雲見、沼津「平年並」であった。

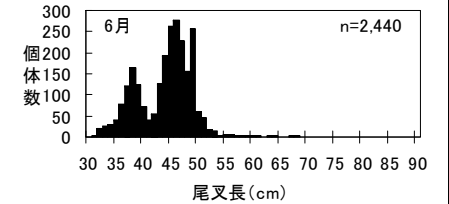
【竿釣りカツオ】

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は115トンで前年同月(150トン)の77%であった。魚価は404円/kgで前年同月(439円/kg)を下回った。

漁場は、30°~34°N、138°~139°Eの海域であり、水揚げされた魚体の銘柄は、小(尾叉長45~47cmモード)を主体に中(尾叉長50~51cmモード)、極小(尾叉長38~39cmモード)、チン(尾叉長36~37cmモード)、大(尾叉長58~61cmモード)、特大(尾叉長67~68cmモード)であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
29年6月上旬	29	8	3.6	608
中旬	21	8	2.6	428
下旬	65	16	4.1	370
29年6月計	115	32	3.6	404
28年6月計	150	59	2.5	439
27年6月計	154	35	4.4	372



御前崎港における測定結果

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は214トンで前年の同漁場の水揚量(475トン)の45%であった。また、1か統あたりの水揚量は、30.5トンで前年(67.8トン)の45%、平年(昭和57~平成28年の平均61.28トン)の50%であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(49.4トン、さば類、イサキ、カタクチイワシ)、次いで古網漁場(47.0トン、マイワシ、カタクチイワシ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚量は以下(表)の通りで、カタクチイワシは49.9トンで前年比27%、平年比94%、さば類は45.9トンで前年比1.4倍、平年比41%であった。さば類のうち、ゴマサバは41.9トン、マサバは3.9トンであった。ブリは24.6トンで前年比2.0倍、平年比1.4倍であった。銘柄わらさ主体で、銘柄わらさ水揚量は16.5トン(前年比1.6倍、平年比1.6倍)と多かった。マイワシは20.0トンで前年比27%、平年比64%、イサキは16.5トンで前年比4.1倍、平年比2.9倍であった。その他の魚種については、マルソウダが前年比1%、平年比2%(962kg)、シイラが前年比11%、平年比18%(3.8トン)と極めて低調な漁獲であった。

多獲された魚種の主な漁場は以下(表)の通りで、カタクチイワシは古網漁場が30%(14.9トン)、赤沢漁場が25%(12.5トン)、さば類は北川漁場が27%(12.2トン)、赤沢漁場が22%(10.0トン)、ブリは川奈漁場が39%(9.7トン)、谷津漁場が25%(6.1トン)、マイワシは古網漁場が92%(18.4トン)、イサキは北川漁場が71%(11.8トン)、谷津漁場が17%(2.8トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
カタクチイワシ	49.9	0.3	0.9	古網、赤沢、北川
さば類	45.9	1.4	0.4	北川、赤沢、川奈
ブリ	24.6	2.0	1.4	川奈、谷津、富戸
マイワシ	20.0	0.3	0.6	古網
イサキ	16.5	4.1	2.9	北川、谷津、川奈

【サバ棒受網】

今月は棒受網で操業を行い、小川港にはゴマサバが816トン（前年同月比83%）水揚げされ、1隻あたり水揚量は21.5トン（前年同月29.0トン）であった。1kgあたり平均単価は93円で前年同月（92円）、前月（91円）とほぼ同額であった。なお、マサバは上旬にごく僅かな水揚げ（36kg）があり、1kgあたり平均単価は204円であった。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長31cmにモードを持つ単峰型で、年齢組成は3歳魚主体に2歳魚が混じっていた。

小川港 さば類（棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
29年6月上旬	0	228	4	13	0.0	17.6	204	119	三本、銭洲
中旬	—	297	3	11	—	27.0	—	85	銭洲
下旬	—	291	4	14	—	20.8	—	81	銭洲
29年6月計	0	816	11	38	0.0	21.5	204	93	銭洲、三本
28年6月	—	985	12	34	—	29.0	—	92	三本、三宅
27年6月	0	932	14	36	0.0	25.9	108	84	三宅、三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

平成29年6月の出漁日数は1日（前年同月は2日）、水揚量は32トン（前年同月59トン）で、1日1か統あたりの漁獲量は540kg（前年同月492kg）であった。主な漁場は、富士市沖～興津沖に形成された。

水揚げされたサクラエビの体長組成は、体長34～36mm付近にモードを持つ0歳が主体であった。なお、29年度春漁は6月4日夜の出漁で終漁となった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁 場
29年6月上旬	32.4	1	540	富士市沖～興津沖
中旬	—	—	—	—
下旬	—	—	—	—
29年6月計	32.4	1	540	—
28年6月計	59.1	2	492	富士川沖～三保沖 焼津沖～相良沖
27年6月計	—	—	—	出漁なし
26年6月計	113.8	3	633	大井川～相良沖

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

主要6港（新居、舞阪、福田、御前崎、吉田、静岡）の総水揚量は485.8トンで前年同期（233.5トン）の2.1倍、平年同期（863.3トン）の56%と、前年同期を上回り、平年同期を下回った。1日1か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が442kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が310kg

であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は375kgと前年同期（206kg）の1.8倍、平年同期（過去5か年平均：522kg）の72%と前年同期を上回り、平年同期を下回った。また、平均単価は606円/kgと、前年同期（877円/kg）を下回り、平年同期（567円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延続数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	29.6	9	82	361	466
舞 阪	102.8	9	292	352	496
福 田	48.3	9	164	295	523
御前崎	22.8	11	119	192	971
吉 田	131.8	17	321	411	591
静 岡	150.4	16	318	473	694
平成29年6月計	485.8	71	1,296	375	606
平成28年6月計	233.5	62	1,135	206	877
平成27年6月計	2,603.2	116	2,624	992	377

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年（平成24～平成28年）平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚げは、小川港では240.6トン（前年同月比8.6倍、平年同月比14.4倍）、沼津港では1,213.9トン（前年同月比2.5倍、平年同月比11.0倍）、静浦港では0.1トン（前年同月の水揚げは無し、平年同月比3.5倍）、伊東港では114.9トン（前年同月比37.4倍、平年同月比22.6倍）であった。カタクチイワシの水揚げは小川港では42.8トン、沼津港では208.2トン、伊東港と静浦港では無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚げは、マイワシが20.0トン、カタクチイワシが54.9トンであった。

*平年：過去5か年（平成24～平成28年）平均値

【調査船駿河丸の動向】

6月 1日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
6月 5日～6月 7日	地先定線観測調査	(3日間)
6月 8日～6月 9日	いわし類卵稚仔及びふぐ稚魚調査	(2日間)
6月 13日～6月 16日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(4日間)
6月 19日～6月 20日	サクラエビ調査（面積密度）	(2日間)
6月 26日～6月 27日	サクラエビ調査（卵数法）	(2日間)
6月 28日～6月 29日	さば標識放流調査（ひょうたん瀬・高瀬）	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

